

図画工作科における「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を追究した授業展開例

- 題材名 第2学年「わっかで へんしん」4時間完了 工作
- 目標 身に付けた紙の輪の飾り付けを試しながら、自分が変身したいものをつくる活動に楽しんで取り組むことができるようにする。
- 着目させたい造形的な特徴 いろいろな形や色、触った感じ など

STEP1

どのように変身したいのか考える。
発想

学習の個性化

からだの様々な部分に輪っかを身に付け、輪っかの形や色、身に付ける場所などから、どんな変身ができるのかを考える。

指導の個別化

- ホッチキスの使い方（教P63）を押さえ、安全に留意して製作させる。
- 一人一人がもつイメージの違いを認め、一人一人のよさや面白さとして大切にさせる。

協働的な学び

- 身に付けた輪っかやさまざまな材料から、何に変身してみたいのかをペアで伝え合う。
- △ 他者の見方や感じ方を知り、新しい刺激や発想として、これからの製作への意欲の高まりにつなげる。

STEP2

変身に合う形や色を見付け、工夫してつくる。
構想 技能

学習の個性化

- 様々な材料の形や色、触った感じから、変身に合う材料はどれか考える。
- 様々な材料を使って飾り付けを試すことで、自分が変身したいもののイメージに合う形や色になるように工夫する。
- 簡易提示装置とプロジェクターで、教室内に大型の姿見をつくっておき、身に付けた飾りの感じを確かめられるようにする。

協働的な学び

- **製作しながら**、形や色、触った感じなど、材料の飾り方の工夫のよさや面白さを見付け、ペアでタブレットを使い撮影し合う。撮影した画像をロイロノートで提出する。教師が全体で共有できる場面を設定する。
- △ 互いの表現のよさや面白さを共有することで、多様な見方や感じ方を知り、新たな発想につなげる。

STEP3

変身した姿を見合い、形や色の面白さを味わう。
鑑賞

協働的な学び

- 「わっかで変身！ショータイム」にて、輪の形からできた、様々な形や色、材料の感じに着目しながら、互いの表現のよさや面白さを楽しく味わう。
- 友達の変身の気に入ったところをタブレットで撮影し、見付けた面白い形や色に○を付ける。

STEP4

学びを振り返り次につなげる。
知識 態度
次なる題材例
小3「クリスタルアマル」

学習の個性化

- 自分が思い付いたり見付けたったりした面白い形や色、触った感じを記録する。
- 変身したものに近付いたのかを振り返り、満足感とその理由やこれからはどうしたいかを学習アプリに記録する。

指導の個別化

- 子ども一人一人の学習履歴から学びの進捗を確認・把握し、次時に向けたアドバイスをする。
- 学びを振り返りができない児童には、「どんな面白い形や色を思い付いたか、気付いたか」と声を掛ける。